

2024年度

## 授業概要

科目名	小児聴覚障害			授業の種類	演習	講師名	帯包 静香
授業回数	15回	時間数	30時間	1単位	必修・選択	必修	配当学年 時期

### 【授業の目的・ねらい】

小児を中心とした聴覚障害について学び、療育に必要な検査方法や指導方法が理解できる。聴覚補償機器の利用や療育について学び、就学や家族支援について考える。

## 【実務者経験】

岡山かなりや学園、まな星クリニックにて、言語聴覚士として小児の聴覚障害および発達障害分野の療育に従事する。

## 【授業全体の内容の概要】

【授業目標】 小児期の聴覚障害と言語発達への影響について理解できる。  
障害特徴と評価・訓練・指導の基本的知識および国家試験に則した基礎知識を身につける。

### 【授業終了時の達成課題（到達目標）】

【授業終了時の達成目標（到達目標）】  
聴覚障害が小児期に及ぼす影響について理解できる。

障害の特徴や評価方法、療育で必要な基本的知識および国家試験に則した知識を身につける。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	聴覚障害とは何かを聴覚の発達とあわせて理解できる	教科書 配布資料
2	小児期の発達と難聴の影響について理解できる	教科書 配布資料
3	小児難聴のリハビリテーションの概要について理解できる	教科書 配布資料
4	聴覚障害のリハビリテーションの歴史と現状について理解できる	教科書 配布資料
5	聴覚障害のリハビリテーションの概要について理解できる	教科書 配布資料
6	学校教育における指導と課題について理解できる	教科書 配布資料
7	聴覚特別支援学校の見学を通して聴覚障害児教育について理解できる	教科書 配布資料
8	聴覚特別支援学校の見学を通して聴覚障害児教育について理解できる	教科書 配布資料
9	小児難聴の聴覚評価について理解できる	教科書 配布資料
10	小児難聴の評価(聴覚評価以外)について理解できる	教科書 配布資料
11	小児難聴の指導・支援における課題について理解できる	教科書 配布資料
12	小児難聴の指導・支援における考え方について理解できる	教科書 配布資料
13	小児難聴の指導・支援について、障害認識へのアプローチを含めて理解できる	教科書 配布資料
14	情報保障と社会資源について理解できる	教科書 配布資料
15	難聴を伴う重複障害について理解できる	教科書 配布資料
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・參考書】

【使用教科書・教材】  
標準言語聴覚障害学 参考書】  
聴覚障害学 第3版

## 【準備學習・時間外學習】

授業前後に予習復習を行う。

## 【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。

試験の結果を100点満点として成績を評価する。  
試験は定期試験のみ実施し、60点以上の場合に科目を認定する。